



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社
コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲嗣
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 堀田 貢市 (TEL) 04-2955-1211
四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	118,864	3.2	7,757	87.0	8,196	99.3	4,804	—	3,874	—	6,179	700.7
2021年3月期第3四半期	115,160	△4.6	4,149	△24.2	4,112	△22.7	△59	—	296	△59.8	772	△63.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	161.83	—
2021年3月期第3四半期	12.35	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	135,344	70,325	57,534	42.5
2021年3月期	126,448	65,015	52,663	41.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	12.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	158,000	0.5	9,000	59.9	9,400	53.8	5,000	—	4,000	500.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社（社名） ー 、除外 ー 社（社名） ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	24,042,700株	2021年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	103,175株	2021年3月期	103,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	23,939,525株	2021年3月期3Q	23,978,487株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、半導体供給不足による受注の減少などはあったものの、為替換算上の増収影響などにより、1,188億6千4百万円と前年同期に比べ37億4百万円、3.2%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は、受注の減少はあったものの、77億5千7百万円と製品保証引当金繰入額を計上した前年同期に比べ36億8百万円、87.0%の増益となりました。税引前四半期利益は、81億9千6百万円と前年同期に比べ40億8千4百万円、99.3%の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、38億7千4百万円と前年同期に比べ35億7千8百万円の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、売上収益は、半導体供給不足による受注の減少などはあったものの、新型コロナウイルス感染症による受注の減少からの持ち直しなどにより、182億4百万円と前年同期に比べ32億1千7百万円、21.5%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加や原価改善効果などにより、16億5千8百万円と前年同期に比べ29億8千3百万円の改善となりました。

(米州)

米州においては、売上収益は、新型コロナウイルス感染症による受注の減少からの持ち直しはあったものの、半導体供給不足による受注の減少などにより、206億6千1百万円と前年同期に比べ6億4千万円、3.0%の減収となりました。税引前四半期損失は、受注の減少はあったものの、22億2千1百万円と製品保証引当金繰入額を計上した前年同期に比べ29億7千9百万円の改善となりました。

(中国)

中国においては、売上収益は、為替換算上の増収影響はあったものの、半導体供給不足による受注の減少などにより、377億2千万円と前年同期に比べ70億1百万円、15.7%の減収となりました。税引前四半期利益は、原価改善効果はあったものの、受注の減少などにより、68億9千5百万円と前年同期に比べ27億8千3百万円、28.8%の減益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、売上収益は、依然として新型コロナウイルス感染症影響はあるものの、大幅な受注の減少があった前年同期に比べ、422億7千9百万円と81億2千6百万円、23.8%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加などにより、17億8千8百万円と前年同期に比べ9億4千2百万円、111.3%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,353億4千4百万円と前年度末に比べ88億9千6百万円の増加となりました。増加した要因は、その他の金融資産が20億7千万円減少したものの、現金及び現金同等物が44億6千9百万円、営業債権及びその他の債権が31億1千7百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、650億2千万円と前年度末に比べ35億8千7百万円の増加となりました。増加した要因は、営業債務及びその他の債務が10億7千1百万円減少したものの、借入金が40億6千8百万円増加したことなどによるものであります。

資本合計は、703億2千5百万円と前年度末に比べ53億9百万円の増加となりました。増加した要因は、利益剰余金が35億3千8百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出47億1千6百万円、法人所得税の支払額29億3百万円、棚卸資産の増加額25億4千2百万円などはあったものの、税引前四半期利益81億9千6百万円、減価償却費及び償却費56億7千1百万円などにより、262億7百万円となり、前年度末に比べ44億6千9百万円増加しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、法人所得税の支払額29億3百万円、棚卸資産の増加額25億4千2百万円、営業債権及びその他の債権の増加額18億9千5百万円などはあったものの、税引前四半期利益81億9千6百万円、減価償却費及び償却費56億7千1百万円などにより、前年同期に比べ19億4千9百万円増加し、53億円（前年同期は33億5千万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出47億1千6百万円などはあったものの、定期預金の払戻10億4千8百万円などにより、前年同期に比べ6億3千1百万円減少し、44億7千5百万円（前年同期は51億6百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の返済による支出15億円、配当金の支払額8億7千6百万円などはあったものの、短期借入金の純増額54億9千1百万円などにより、前年同期に比べ39億3千4百万円増加し、27億8千2百万円（前年同期は11億5千1百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	21,738	26,207
営業債権及びその他の債権	29,630	32,747
その他の金融資産	4,066	2,986
棚卸資産	12,332	15,263
その他の流動資産	1,339	1,312
流動資産合計	69,105	78,514
非流動資産		
有形固定資産	48,507	48,216
無形資産	2,670	2,897
使用権資産	658	725
その他の金融資産	1,862	871
繰延税金資産	1,418	2,061
退職給付に係る資産	1,950	1,836
その他の非流動資産	278	224
非流動資産合計	57,344	56,830
資産合計	126,448	135,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	23,169	22,097
借入金	10,334	15,902
その他の金融負債	625	681
未払法人所得税	818	1,446
引当金	3,982	3,832
その他の流動負債	5,096	5,024
流動負債合計	44,023	48,982
非流動負債		
借入金	5,000	3,500
その他の金融負債	458	483
退職給付に係る負債	6,370	6,489
繰延税金負債	5,275	5,141
その他の非流動負債	307	424
非流動負債合計	17,410	16,038
負債合計	61,433	65,020
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,490	3,498
利益剰余金	42,449	45,987
自己株式	△60	△60
その他の資本の構成要素	3,097	4,423
親会社の所有者に帰属する持分合計	52,663	57,534
非支配持分	12,353	12,791
資本合計	65,015	70,325
負債及び資本合計	126,448	135,344

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	115,160	118,864
売上原価	△97,476	△100,992
売上総利益	17,685	17,872
販売費及び一般管理費	△11,049	△8,536
研究開発費	△2,495	△1,732
その他の収益	246	235
その他の費用	△238	△82
営業利益	4,149	7,757
金融収益	198	516
金融費用	△234	△76
税引前四半期利益	4,112	8,196
法人所得税費用	△4,171	△3,393
四半期利益(△損失)	△59	4,804
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	296	3,874
非支配持分	△355	930
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.35	161.83

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益(△損失)	△59	4,804
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△11	△782
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△11	△782
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	841	2,156
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	841	2,156
その他の包括利益合計	830	1,375
四半期包括利益	772	6,179
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	924	5,200
非支配持分	△152	978

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2020年4月1日残高	3,686	3,488	40,469	△25
四半期包括利益				
四半期利益(△損失)			296	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資 産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	296	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				△35
剰余金の配当				
支配継続子会社に対する持 分変動		△5		
株式報酬取引		5		
所有者との取引等合計	—	△0	—	△35
2020年12月31日残高	3,686	3,488	40,765	△60

2021年4月1日残高	3,686	3,490	42,449	△60
四半期包括利益				
四半期利益(△損失)			3,874	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資 産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	3,874	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				
剰余金の配当			△336	
支配継続子会社に対する持 分変動				
株式報酬取引		7		
所有者との取引等合計	—	7	△336	—
2021年12月31日残高	3,686	3,498	45,987	△60

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2020年4月1日残高	826	△1,058	△232	47,386	13,510	60,896
四半期包括利益						
四半期利益(△損失)				296	△355	△59
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△11		△11	△11		△11
在外営業活動体の換算差額		638	638	638	203	841
四半期包括利益合計	△11	638	628	924	△152	772
所有者との取引等						
自己株式の取得				△35		△35
剰余金の配当				—	△849	△849
支配継続子会社に対する持分変動				△5	△581	△586
株式報酬取引				5		5
所有者との取引等合計	—	—	—	△35	△1,430	△1,465
2020年12月31日残高	816	△420	396	48,274	11,927	60,202

2021年4月1日残高	824	2,273	3,097	52,663	12,353	65,015
四半期包括利益						
四半期利益(△損失)				3,874	930	4,804
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△782		△782	△782		△782
在外営業活動体の換算差額		2,108	2,108	2,108	49	2,156
四半期包括利益合計	△782	2,108	1,326	5,200	978	6,179
所有者との取引等						
自己株式の取得				—		—
剰余金の配当				△336	△540	△876
支配継続子会社に対する持分変動				—		—
株式報酬取引				7		7
所有者との取引等合計	—	—	—	△329	△540	△869
2021年12月31日残高	43	4,381	4,423	57,534	12,791	70,325

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,112	8,196
減価償却費及び償却費	5,362	5,671
金融収益	△198	△516
金融費用	234	76
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△11,734	△1,895
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,279	△2,542
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	5,742	△877
引当金の増減額(△は減少)	2,991	△296
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	376	76
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4	114
その他(純額)	904	17
小計	6,507	8,024
利息及び配当金の受取額	198	254
利息の支払額	△67	△75
法人所得税の支払額又は還付額	△3,287	△2,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,350	5,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,045	△4,716
有形固定資産の売却による収入	105	36
無形資産の取得による支出	△426	△855
定期預金の預入又は払戻(純額)	1,262	1,048
その他(純額)	△3	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,106	△4,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,942	5,491
長期借入金の返済による支出	△1,169	△1,500
自己株式の取得による支出	△35	—
親会社の所有者への配当金の支払額	—	△336
非支配持分への配当金の支払額	△849	△540
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△586	—
その他(純額)	△453	△332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,151	2,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,907	3,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	340	862
現金及び現金同等物の期首残高	25,121	21,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,554	26,207

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	14,987	21,300	44,721	34,152	—	115,160	—	115,160
セグメント間の内部売上収益	6,221	57	1,100	680	2	8,060	△8,060	—
合計	21,207	21,357	45,821	34,832	2	123,220	△8,060	115,160
セグメント利益(△損失) (税引前四半期利益又は損失)	△1,325	△5,199	9,678	846	0	4,000	112	4,112

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益(△損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	18,204	20,661	37,720	42,279	—	118,864	—	118,864
セグメント間の内部売上収益	6,547	119	1,334	867	—	8,867	△8,867	—
合計	24,751	20,779	39,055	43,146	—	127,731	△8,867	118,864
セグメント利益(△損失) (税引前四半期利益又は損失)	1,658	△2,221	6,895	1,788	2	8,122	75	8,196

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益(△損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。